

施策番号	1804		
施策名	新しい学習環境づくり		
概要	老朽化した学校施設の機能改善の際、環境やバリアフリーに配慮し、子どもが安心して快適に過ごせる学習環境を整備する。		
担当局・部室	教育委員会・総務部，教育環境整備室	共管局・部室	
上位政策	18 学校教育		
施策に関係する 主な分野別計画等			

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成 30年度	令和 元年度	令和2年度評価					
				前回数	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	大規模整備事業実施校数（件）	a	a	55	62	45	137.8%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		a	a					a	

2 市民生活実感評価

設問		平成 30年度	令和元年度							令和 2年度 ※
			評価	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数	
1	安全快適な学校施設や最新の設備など、充実した教育環境が整っている。	b	b	63 10.5%	270 45.2%	192 32.1%	50 8.4%	23 3.8%	598	-
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		b	b							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	A	令和元	A	令和2	A	施策の目的が十分に達成されている
重み付け	☒ 客観指標 ☐ 市民の実感	市立学校施設整備という対象に限られた施策であり，市民の生活実感に施策の効果がすぐには反映されにくい性質があるため客観指標を重視する。				

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり，施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり，次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☒ b評価以上であり，施策の効果が市民の実感に表れている。
☐ c評価以下であり，次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・学校施設マネジメント基本計画・行動計画に基づき，学校施設の長寿命化改修や予防保全等の取組を効果的・効率的に推進するとともに，省エネルギー化やバリアフリーという観点を踏まえながら，子どもたちが利用しやすく，快適に過ごすことのできる学習環境の整備を引き続き進める。
- ・災害時には地域の防災拠点として機能できるよう，防災機能の強化，耐震性能の向上の観点から学校施設の整備を行う。

施策名	1804	新しい学習環境づくり				
指標名	大規模整備事業実施校数（件）					
担当課	教育環境整備室		連絡先	2 2 2－3 7 9 6		
1 指標の説明						
新たな学習環境づくりのために、老朽化した学校施設の機能改善の際、環境に配慮した改修を行うとともに、災害時を想定した避難所施設としての機能向上、耐震性能の向上の観点から整備を行った件数						
2 指標の意味						
学びの場であり地域の拠点である学校を環境に配慮しながら改修し、防災拠点としての機能を付け加える指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：改修実績数を計上 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	55	62	7校増	45	中長期目標値(令和2年度)を段階的に達成していくために、当年度に達成すべき数値	137.8%
	全国順位	中長期目標				
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	50	令和2年度	124.0%	京プラン実施計画 第2ステージ	
備考						
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a:80%以上～（令和元年度36件以上） b:60%以上～80%未満 （令和元年度27件以上36件未満） c:40%以上～60%未満 （令和元年度18件以上27件未満） d:20%以上～40%未満 （令和元年度9件以上18件未満） e:20%未満（令和元年度9件未満）						
6 基準説明						
目標値を年度毎に設定した上で（累計） 平成27年度目標値10件 平成28年度目標値20件 平成29年度目標値30件 平成30年度目標値40件 令和元年度目標値45件 令和2年度目標値50件 80%以上をaとし、以下20%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
平成30	令和元	令和2				
a	a	a				